

REHAMAGA

歩くを支える、 装具の力。

患者様一人ひとりに合わせた装具づくりと
チームの取り組み



社会医療法人 北斗

十勝リハビリテーションセンター

チームが支える専門技術で、理想の歩行を形にします

医師、理学療法士、義肢装具士の専門性を結集し、安全性と効率性を追求した装具づくりを行います。

細かな調整や適合評価を積み重ね、急性期から生活期まで、お一人おひとりが安心して一步を踏み出せる毎日を、多角的な視点で継続的に支え続けます。



患者様に合った装具を チームで検討

患者様一人ひとりの症状や歩行能力、生活環境に合わせて、最適な下肢装具をチームで選定します。
チームは医師、義肢装具士、理学療法士の多職種で構成しており、評価と調整を重ねながら、安全で歩きやすい装具を検討します。
装具作成後も状態に応じて見直しを行い、より良い歩行能力の向上を目指します。



患者様の動きに合わせて 装具を調整

多職種で連携し、患者様の動きや状態に合わせて装具を調整します。
理学療法士や義肢装具士が歩行状態を確認しながら、装具の角度設定やフィット感を細かく調整します。
日々の患者様の状態変化に合わせて調整・検討を繰り返し、安全で快適に歩けるよう継続的に支援します。

当院で使用している装具

当院では、患者様の状態に応じて複数の装具を使い分けています。

長下肢装具

膝から足首までを支える装具で、立位の動作や歩行中の下肢の安定性を高めます。
筋力低下や麻痺が強い方に使用されます。



タマラック継手付き プラスチック装具

足首の動きを調整できるプラスチック製の装具で、膝の動きをより自然に近づけます。
中等度の麻痺がある方に使用されます。



ゲイトソリューション デザイン

油圧を用いた装具で、より自然な歩行時の足の振り出しや接地をサポートします。
比較的軽度の麻痺の方に適した装具です。



リハビリテーション
専門外来

装具で支える、安心の歩行と動作

装具は、麻痺によって動かせない手足を支え、動きをコントロールすることで、患者様の歩行や動作を助けることができます。
からだに合った適切な装具の処方、設定や調整次第で歩きやすさ、動きやすさが大きく変わることもあります。
どうぞお気軽にご相談ください。



むかひの
向野 雅彦 北海道大学病院
リハビリテーション科 教授

予約制 第3金曜日
15:00~17:00

装具に関わるスタッフ

回復期から生活期へつなぐ 装具療法

リハビリテーション医は、患者様の全身状態を踏まえ、回復期から生活期までを見据えて装具の適応を判断しています。
装具療法は、その場の歩行だけでなく、退院後の生活でも使い続けられることが重要です。
当院では多職種が連携し、各期の環境や目標に応じた装具の選定と調整を行っています。



医師
杉 貴文

一人ひとりに合った装具で 安全で効率のよい歩行をサポートします

理学療法士は、患者様の筋力や関節の動き、歩き方を評価し、その方に合った装具の選定や調整に関わります。
装具を装着した状態での歩行練習を行い、安全で効率のよい歩き方をサポートします。
日々の状態変化にも対応し、より良い動きの獲得を支援します。



理学療法士
宇野 奨吾

状態に合わせた装具づくりを 行っています

義肢装具士は、リハビリテーション医や理学療法士からの身体評価を元に、患者様一人ひとりの身体状況に合った装具療法の提案・提供を行わせていただきます。
急性期・回復期・生活期では装具に必要な機能が異なるため、カンファレンスの中で必要な機能の選定と歩行評価を行い、装具の製作及び適合を行なっています。



(株)田村義肢製作所
橋本 紘樹

回復期リハビリテーション病棟における 鍼治療

白坂院長よりご依頼を受け、2025年9月から鍼治療を提供させていただいています。白坂院長の期待に応えるべく、札幌の腕利きの鍼灸師を集めたチーム『haripo』とともに活動させていただいています。

十勝リハビリテーションセンターで感じるの、「チームで患者様を支える」という理念が、言葉だけでなく現場に息づいていることです。看護師や理学療法士・作業療法士をはじめとするスタッフの皆さんは技術・意識ともに非常に高く、異なる専門性を持つ者同士が互いに学び合いながら協力できる環境は、私たち鍼灸師にとっても大きな刺激になっています。

一般に、理学療法士や作業療法士と鍼灸師が密に連携するケースは多くありません。しかしここでは、それぞれの専門的なアプローチが補い合い、従来の方法だけでは突破しにくい症状に対して、鍼治療という異なる角度からの介入が転機となることがあります。その場で動きの改善が見られたり、鍼治療をきっかけにその後のリハビリへの反応が高まったりと、積み重なる経験が私たちの自信にもなっています。

患者様が笑顔を取り戻されたとき、医師・看護師・理学療法士・作業療法士そして鍼灸師と一緒に喜び合える——その瞬間が、私たちにとってかけがえのない宝物になっています。

快気堂鍼灸院白石
院長/haripo代表 谷地一博



快気堂鍼灸院白石

〒003-0025
札幌市白石区本郷通2丁目北5-1
☎011-598-9049



社会医療法人 北斗

十勝リハビリテーションセンター



〒080-0833 帯広市稲田町基線2番地1

☎ 0155-47-5700

FAX 0155-47-5701

電話対応時間 平日/9:00~17:00、土曜/12:00まで

- ・帯広駅から車でおよそ20分
- ・十勝バス「十勝リハビリテーションセンター前」より徒歩2分

発行 社会医療法人 北斗 発行人 橋本 郁郎